

学校支援活動事業訪問

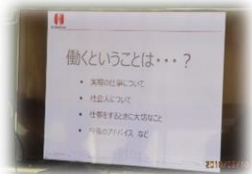
福島市訪問【福島市立松陵中学校】

訪問日：令和元年9月10日（火）13：40～15：30

場所：福島市立松陵中学校

内容：第1学年「働く人々に話を聞く会」での学習支援ボランティア

松川地区の10の事業所から11名の職業人の皆様をボランティアとして迎え、総合的な学習「働く人々に話を聞く会」の授業実践が行われました。活動は前後半の2部で構成され、生徒たちは自分が聞いてみたい事業所を2つ選択して話を聞きます。ボランティアの皆様はその仕事をめざしたきっかけや仕事に対する誇り、やりがいなどを生徒に語りかけるように講話をして下さいました。生徒は、メモをとりながら真剣な表情で話を聞き、仕事にかける情熱を肌で感じている様子でした。



【校長先生から】

松陵中学校は地域交流活動が盛んで、学校での行事に地域の方々に多数参加していただいたり、生徒が地域のイベントや学習センター事業にボランティアとして参加したりしています。今回の学校支援活動も、こうした学校と地域の連携が密接な地区だからこそ多くの方々のご協力をいただくことができました。この活動は2年生におけるドリムアップ事業（職場体験学習）へとつながっていきます。今後も学校と地域との結びつきを深めてよりよい教育活動を展開していきたいと考えています。

【ボランティアの方から】

- ・ 私たちはお客様の希望をしっかりと聞き、1枚の紙から実際の建物にしていく楽しい仕事をしています。皆さんに喜んでもらえることにやりがいを感じていることを伝えました。（建築業）
- ・ 生徒の皆さんには、仕事への誇りを伝えるためにナースキャップを紹介しました。憧れを実現するために資格を取ることの大切さを話しました。（看護師）



【生徒の皆さんから】

仕事の話聞きながら、社会人の大変さと仕事の楽しさを学びました。大人の視点から見たアドバイスをいただき、今から将来のことを考えることが必要だと思いました。

【コーディネーターの方から】

学校とボランティアの方とをつなげる役目をしています。ボランティアの皆さんは、始めは「できるかな。」と不安を口にする方が多いですが、終わると皆さん口をそろえて「学校の役に立つことができよかった。」と喜んでくださいます。

本県策定の「頑張る学校応援プラン」では「地域と共にある学校」を主要施策の一つに掲げています。今回の学校支援活動では、地域の人材や事業所との連携を図ることで、各学年での学びをより豊かに積み重ねることができるという素晴らしい取組を取材させていただきました。あわせて、地域・学校双方による「顔の見える関係づくり」を通して学校を核とした豊かな地域コミュニティの実現につながっていると感じました。

今後もますます地域と学校が連携し、相互理解を深めることで、地域の方々が力強い「学校の応援団」となってくれることが期待できます。

